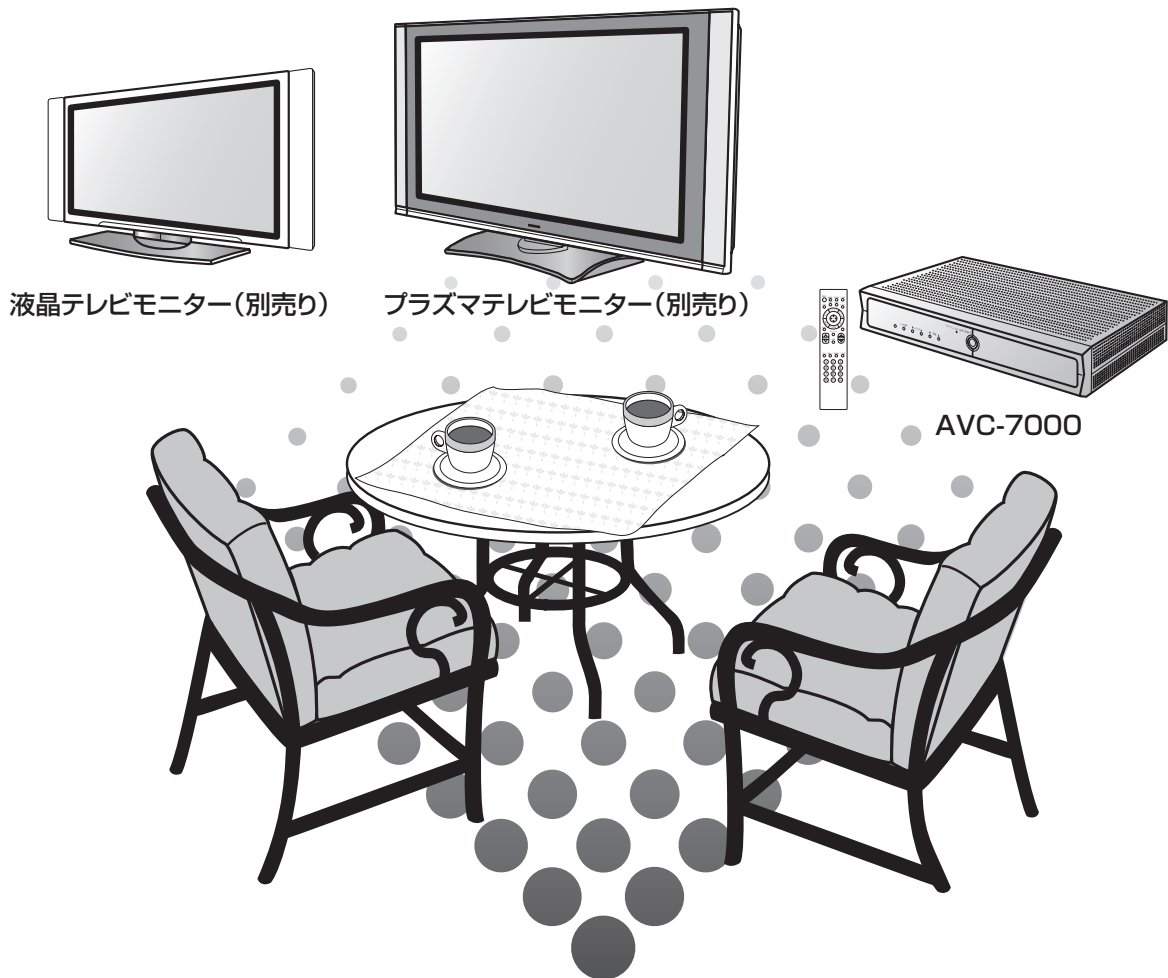


日立 プラズマテレビ
液晶テレビ AVC ステーション

形名

AVC-7000

取扱説明書



このたびは日立プラズマテレビ / 液晶テレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。
日立プラズマテレビ / 液晶テレビは下記の構成になっています。
本機は必ず専用のプラズマテレビモニター（別売り）または液晶テレビモニター（別売り）と接続してください。
本文中のイラストは主として、W42-P7000 と接続した絵で説明しています。

構成内容
● AVC ステーション部
● テレビモニター部

ご購入の際は、それぞれが別々の梱包となっております。ご確認願います。

最初に

「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」とモニター付属の「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

TruBass は、SRS Labs, Inc. の商標です。

TruBass 技術は、SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。



高精細ハイビジョン表示及び現行放送を
高密度処理でハイビジョンと同じ走査線数に変換

DIPP(Digital Image Pixel Processor) 搭載

BS デジタル放送、110度CS デジタル放送、
地上デジタル放送などの映像を
ハイビジョン画質で表示可能

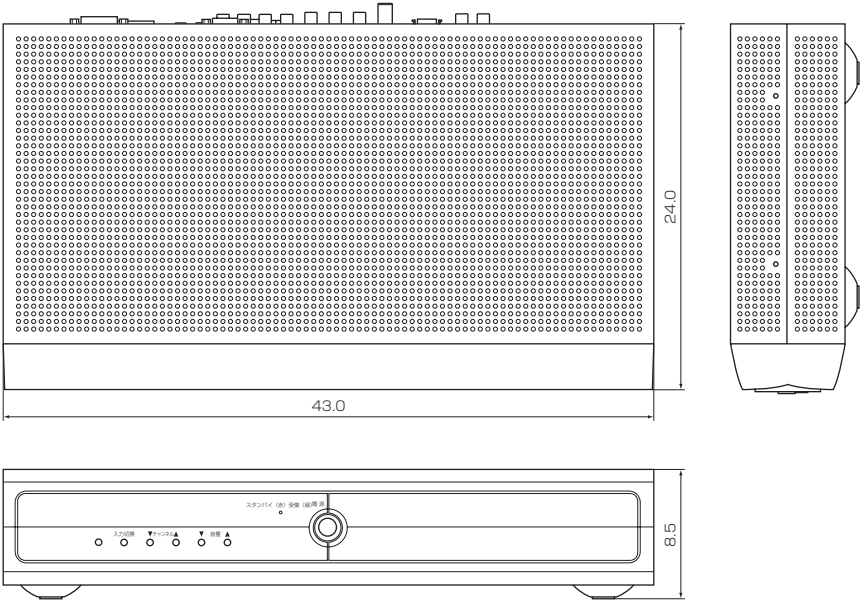
D4 映像端子 2 系統搭載

AVC ステーション部とモニター部を分離、
AVC ステーション部は縦置き設置も可能、

モニター部は壁掛け設置も可能

薄形軽量設置フリー

AVC ステーション寸法図 (cm)



本書の見かた

この説明書は、ほとんどが1ページまたは2ページの見開きで見えるようになっています。
 (※違うパターンもありますが、基本的には同じ説明方法です。)

本体部

(特に指定が無い限り、プラズマテレビモニターのイラストで記載しています。)

注意

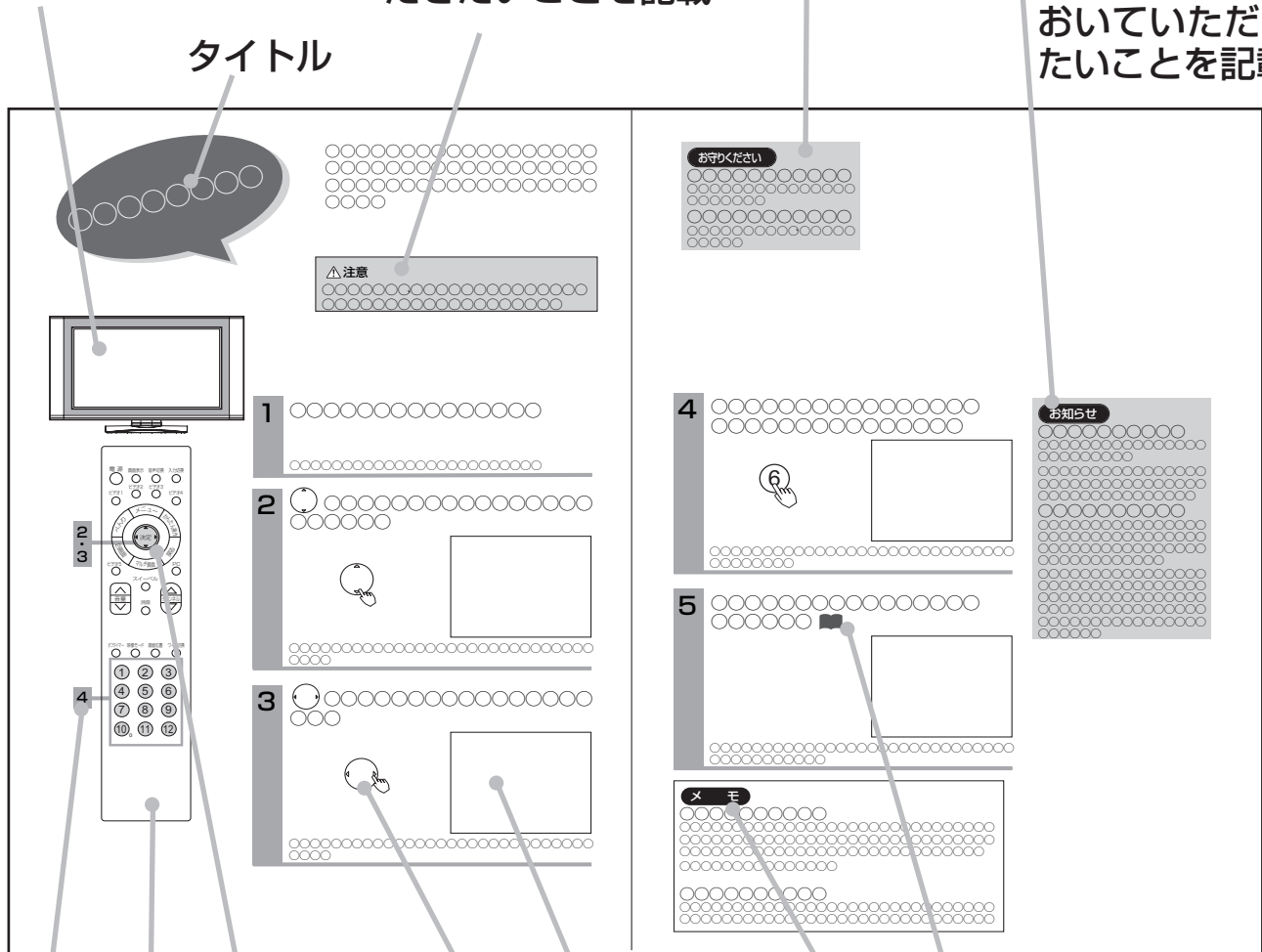
安全上、守っていただきたいことを記載

お守りください

操作上、守っていただきたいことを記載

お知らせ

操作上、知っておいていただきたいことを記載



タイトル

1

2

3

4

5

カーソルボタン

手順の説明




参照ページの記号

リモコン

カーソルボタンの記号

メモ

イラストからの引出番号は操作する順番です

- ( 上下左右の操作)
- ( 上下方向の操作)
- ( 左右方向の操作)

知っているとお利便な操作・解説



はじめに

特長	2
本書の見かた	3
使用上のご注意	6
安全上のご注意	6
お守りください	10
お知らせ	11
アナログ放送からデジタル放送への移行について	12
付属品について	13
各部のなまえ	14
リモコン	14
AVCステーション前面	15
AVCステーション後面	16
リモコンの取り扱い	17

基本の使いかた

メニュー機能の使いかた	18
メニュー項目の選びかた	18
べんり機能の使いかた	20
べんり機能の項目の選びかた	20
べんり機能の項目について	21
テレビ放送 (VHF/UHF) を楽しみたいとき	22
ビデオを見たいとき	24
PC (パソコン) を使いたいとき	25
ワイド機能を楽しみたいとき	26
ワイドモードの選びかた	26
ワイドモードについて	28
画面サイズを調節したいとき	29
画面位置を調節したいとき	30
ワイドクリアビジョン放送受信時	
自動的にワイドモードを切り換えるには	31
ビデオなどで自動的にワイドモードを切り換えるには	32
音を一時的に消したいとき	33
チャンネル番号などを知りたいとき	34
音声内容の選びかた	35
二重音声放送のとき	35
ステレオ放送のとき	35
画面を見やすい向きに合わせたいとき (スイーベル機能)	36
本体で操作したいとき	37

映像・音声の設定

映像の自動調整モードを選びたいとき	38
映像モードの選びかた	38
映像設定をしたいとき	39
明るさ、黒レベルなどの設定	39
さらにお好みの映像設定をしたいとき	40
ディテール、コントラストなどの設定	40
色温度の調節	41
3次元 Y/C、フィルムシアターの設定	42
映像特殊設定について	43
音声モードを選びたいとき	44
音声設定をしたいとき	45
さらにお好みの音声設定をしたいとき	46

多機能の使いかた

2/ マルチ画面を楽しみたいとき	47
2/ マルチ画面モードについて	47
2画面を楽しみたいとき	47
マルチ画面を楽しみたいとき	48
PC ウィンドウを楽しみたいとき	50
「かんたんチェック」で番組を選びたいとき	51
「かんたん操作」で外部機器を操作したいとき	52
かんたん操作画面の説明	52
かんたん操作画面の使いかた	52
リモコンスルー機能で操作する	53
消費電力を低減したいとき	54
オフタイマーで自動的に電源を切りたいとき	55
他の設定を変えたいとき	56
かんたん操作機能をご使用になるには	56
かんたん操作機能について	56
かんたん操作モードを切り換える	56
スイーベル機能をご使用にならないとき	57
フルモードの画面サイズを切り換えるには	58
(液晶テレビモニター接続時のみ)	
スクリーンセーバーをご使用になるには	59

設 置

設置について	62
据え付けるときのご注意	63
接続	64
VHF/UHF アンテナの接続	64
VHF/UHF アンテナが混合のとき	64
BS・CS が混合のとき	64
F 形接栓（別売り）の接続	65
フェライトコアの使いかた	65
きれいな映像を楽しむために	65
映像が不安定になるとき（アッテネーターの設定）	66
IR コントローラーを接続する	67
受信設定について	68
チャンネルの合わせかた（地域番号）	68
チャンネルの合わせかた（マニュアル）	76
10 キー方式にかえる場合	79
ゴースト妨害を低減したいとき（ゴーストリダクション）	80
空きチャンネルを飛び越し選局したいとき	82
受信モードの設定について	83
外部機器と接続したいとき	84
接続できる機器	84
ビデオ、DVD レコーダーなどの録画機器を接続する	85
ビデオカメラとの接続	86
画面を見ながらテープ編集をするときの接続	87
DVD プレーヤーとの接続	88
ゲーム機との接続	89
オーディオ機器との接続	90
CATV ホームターミナルとの接続	91
将来実用化予定のデジタル機器との接続	91
PC（パソコン）との接続	92
対応する信号について	93
推奨信号について	93
PC（RGB）入力端子のピン配列	94
PC 入力画面の映像設定をしたいとき	95
PC 入力画面の位置などを自動調節したいとき	96
PC 入力画面の位置などをお好みに調節したいとき	97
外部機器と接続したいときの設定	98
モニター出力、ゲームモード	98
接続のない入力端子をスキップする	99
入力表示を書き換える	100
コンポーネントの設定	101
IR コントローラーを設定する	102

ご 参 考

パワーセービングシステム	104
故障かな？と思ったら	105
メニュー階層	109
保証とアフターサービス（必ずご覧ください。）	110
お客様ご相談窓口	111
用語解説	112
索引	113
仕 様	裏表紙

使用上のご注意

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味



気をつけなければならない。「注意」を示します。



感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。



してはいけない。「禁止」を示します。



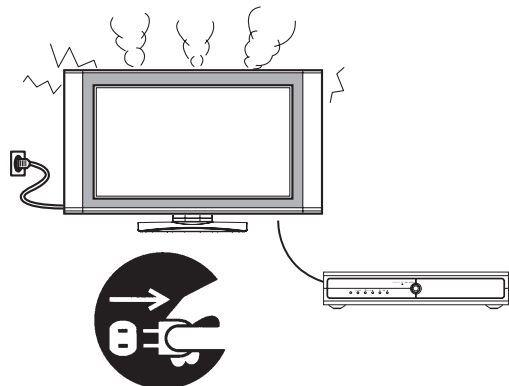
必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意



警告

■ 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

- 煙が出ている、へんな臭いや音がする
- 画が乱れる・映らない、音がでない
- 本機の内部に異物（水、金属など）が入ったなど

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

設置をするとき

警告

■ 不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

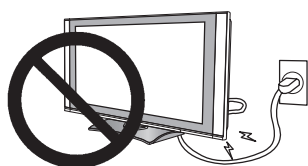
■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない



破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。

- プラズマディスプレイパネルはガラスでできていますので、万一割れたりするとケガの原因となります。

■ 電源コードを本機の下敷にしない



コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

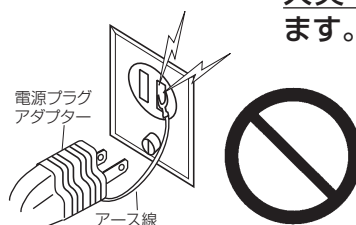
■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V (50/60Hz) 以外では使用しない



たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災の原因となります。

■ アース端子を電源コンセントに差し込まない

火災・感電の原因となります。



注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない



火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど。

■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない



火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける



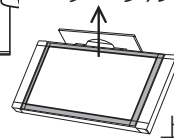
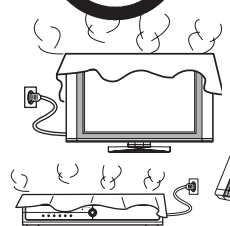
本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない

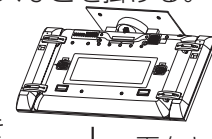


火災の原因となることがあります。通風孔を壁から 10cm 以上離して据えつけてください。(モニターを壁掛け設置する場合は除く) 特につぎのような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。



上向き



下向き

設置をするとき (つづき)

⚠ 注意

■ キャスター (車) 止めをする



テレビ台にキャスター (車) がついている場合は、キャスター止めをする。テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

■ 転倒防止の処置を行う



モニターが倒れると、けがの原因となることがあります。

■ アンテナ工事には技術と経験が必要です ので販売店にご相談ください



- 送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- 特にBS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取りつける。

使用するとき

⚠ 警告

■ 本機の上に花びんなどを置かない



水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。
- ペットが乗らない様、ご注意ください。

■ 本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 風呂場やシャワー室で使用しない



風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 指定の電源電圧で使用する



本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。



■ 異物を入れない



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。特にお子様にはご注意ください。

■ 裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ 電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除く



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない



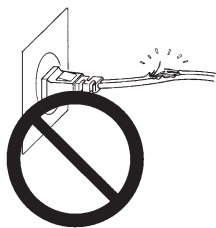
接触禁止

感電の原因となります。

使用するとき(つづき)

警告

■ 電源コードを傷つけない



火災・感電の原因となります。
傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。
● 傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

■ 衝撃を与えない



万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■ 電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない



発熱して火災の原因となることがあります。
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

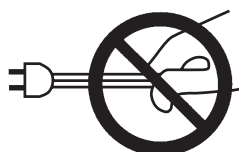
■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない



電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となります。

■ スイベル回転範囲内に物を置いたり操作中に顔や手などを入れない



ものが倒れて壊れたり、けがの原因となることがあります。

■ 本機に乗ったり、ぶら下がったりしない



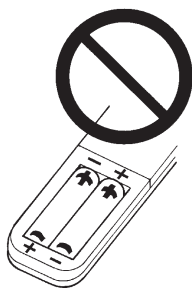
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 本機の上に重いものを置かない



倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

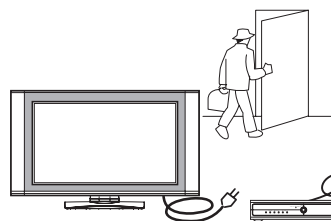
■ 間違った電池の使い方をしない



電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
特に、次の使い方はしない。

- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用

■ 長期間で使用にならないときは必ず電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと

お手入れするとき

⚠ 注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと



■ 年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください



本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、**火災や故障の原因**となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

お守りください

■ 高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

- 直射日光や熱器具の近くなど。

■ お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■ 長時間連続して画面を見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分な配慮をして、生活環境を守りましょう。

■ 本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

■ キャビネットのお手入れについて

● キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。

変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● 化学ぞうきんは、キャビネット変質の原因となりますので使用にならないでください。

● キャビネットや操作パネル部分の汚れは、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。

特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。

- ・ アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹼、カーワックス類など

■ 搬送についてのご注意

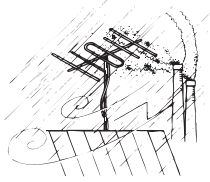
引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

お知らせ

■ ご覧になる位置は

画面のたての長さの3～7倍離れた場所でご覧になれば、見やすく疲れにくくなります。

■ アンテナの点検・交換について



アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。

特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

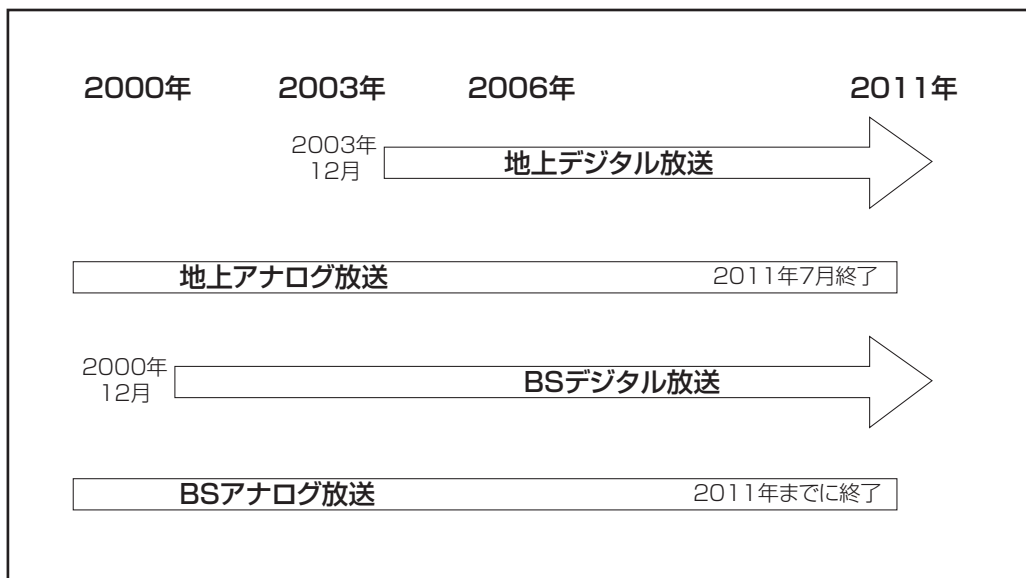
■ 本機の温度について

本機は、長時間使用したり、密閉されたラックに入れて使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上には置かないでください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

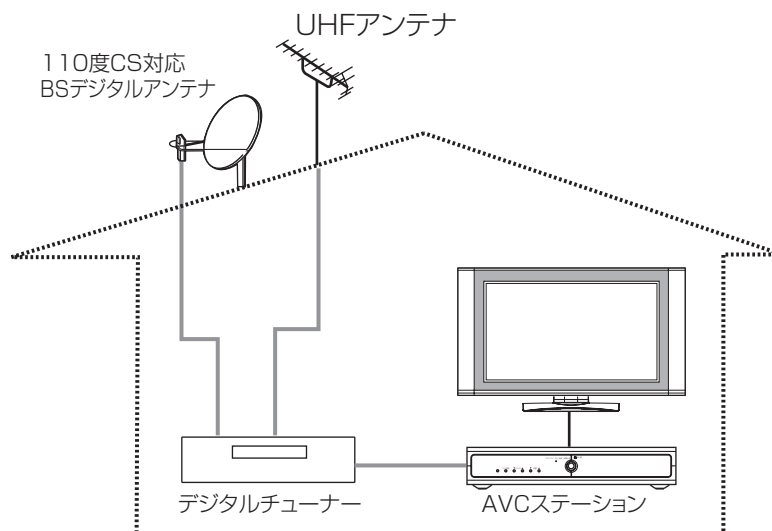
デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大都市圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。



アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

別売りのデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧頂けます。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧頂けます。

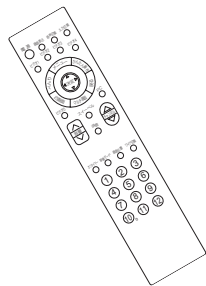


付属品について

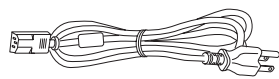
付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

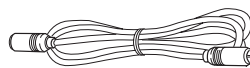
保証書…………… 1冊
取扱説明書（本書）…… 1冊



リモコン送信機 14



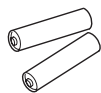
電源コード [1.8m] (灰色) 63



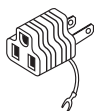
RF ケーブル [2m] 64



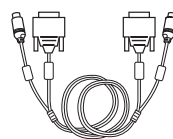
フェライトコア 65



単 4 形乾電池 17
(2 本)



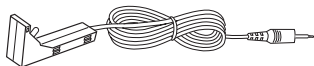
電源プラグアダプター 63



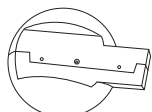
専用接続ケーブル [3m] 62



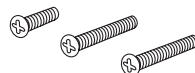
中継接柱 64



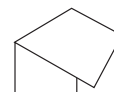
IR コントローラー 67



縦置き用スタンド 62



スタンド用
取付けネジ 62
(短いネジ：1 本)
(長いネジ：2 本)




クリーニングクロス 10

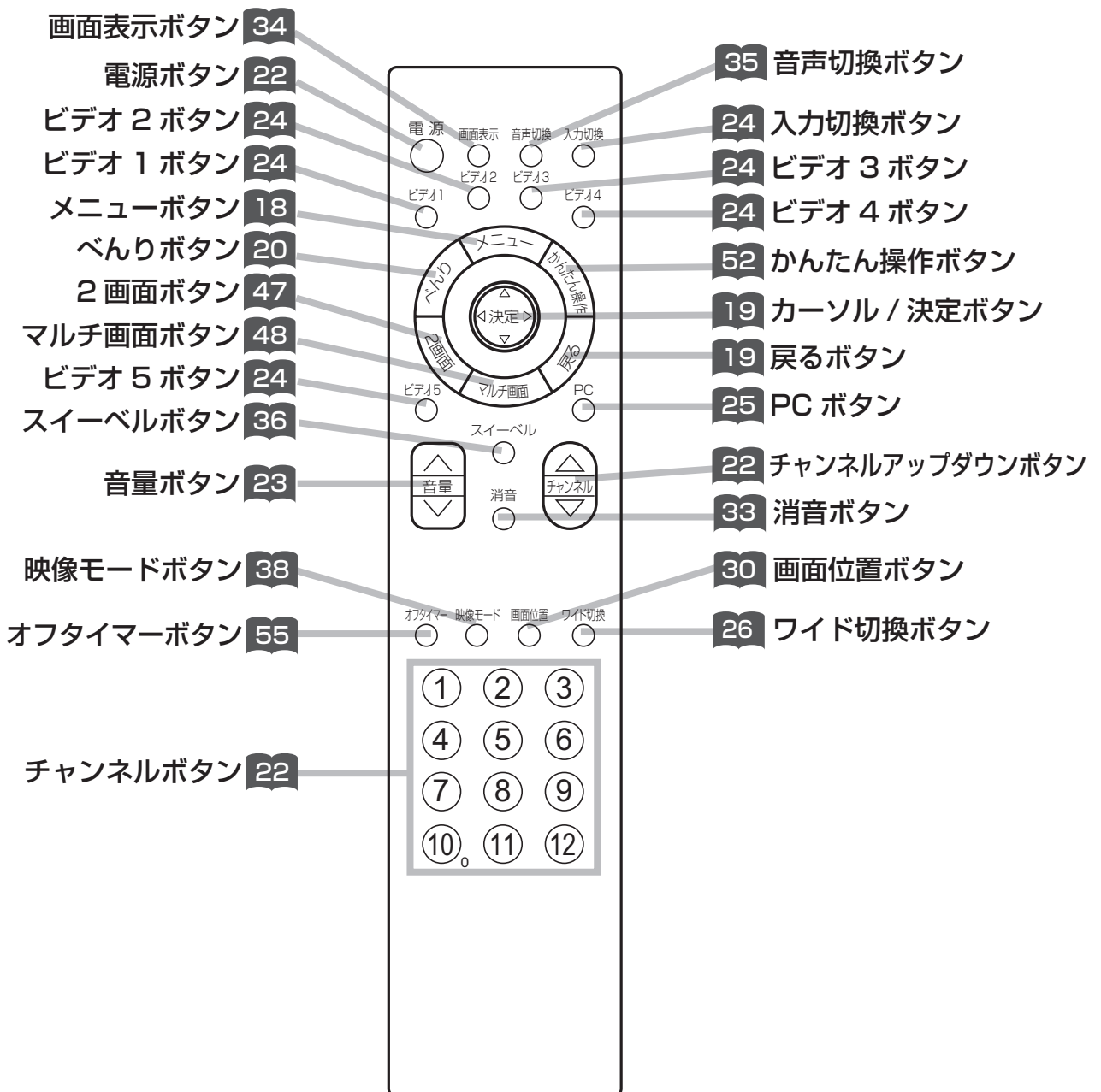
お守りください

- 電源コードと電源プラグアダプターは必ず付属品をお使いください。
- 付属品の電源コードと電源プラグアダプターは本機以外の電気機器には使用しないでください。

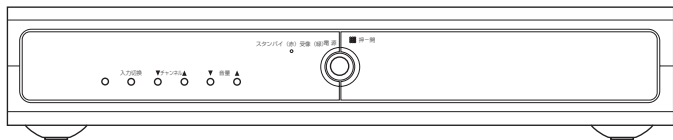
各部のなまえ

リモコン

 内の数字は、
参照ページです。



AVC ステーション前面



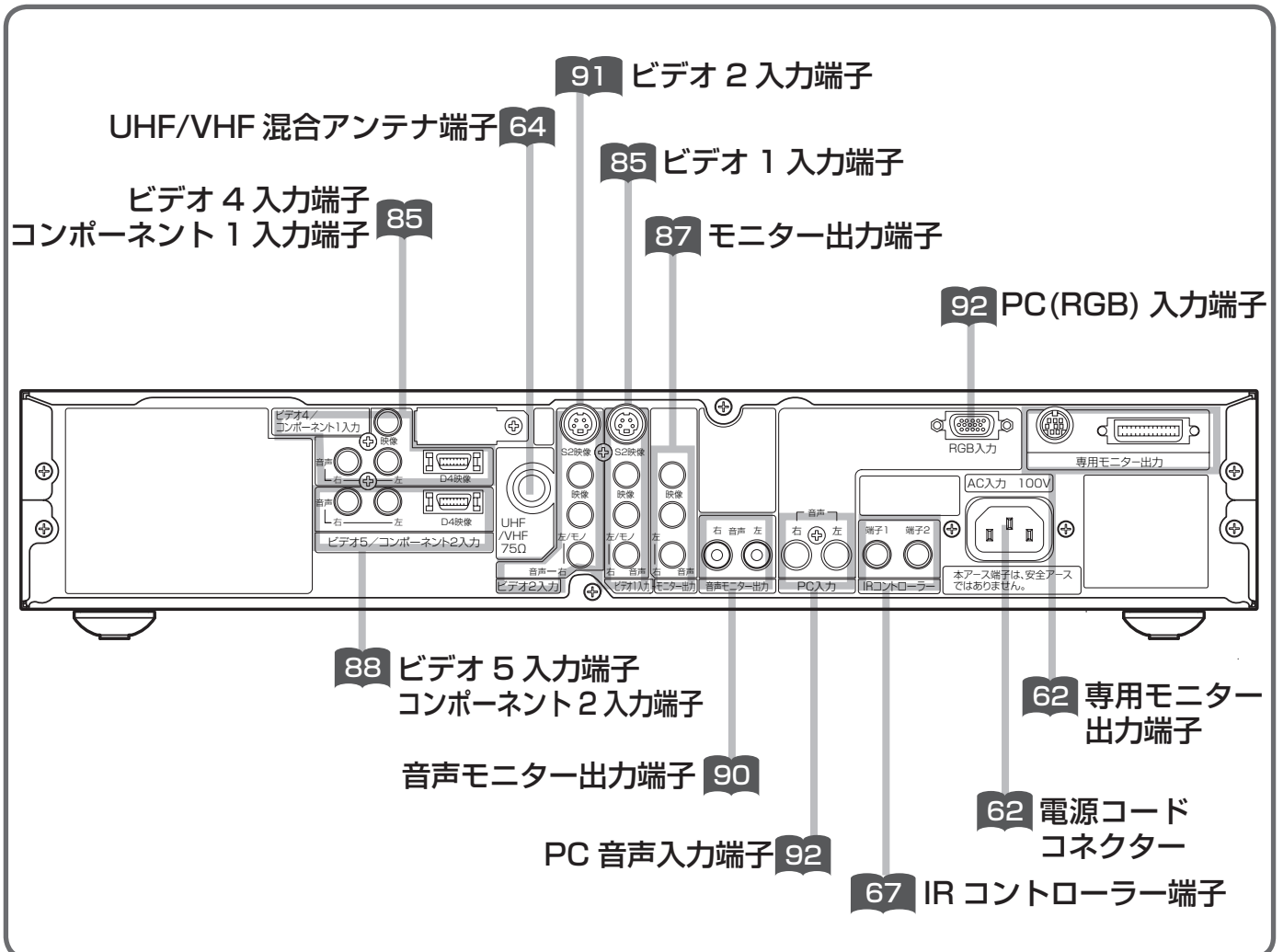
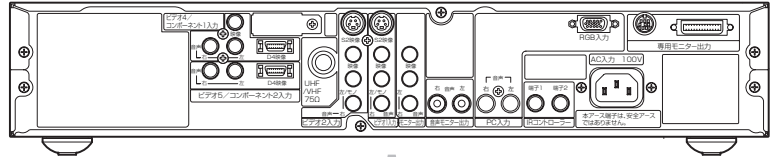
前面とびらの開けかた
 とびらの「押-開」部分を押し、とびらを開けます。

- 17** リモコン受信窓
- 37** 入力切換ボタン
- 37** チャンネルボタン
- 37** 音量ボタン
- 22** スタンバイ/受像ランプ
 イルミネーションリング
 電源を「入」にしたとき点灯します。
- 37** 電源ボタン
- 86 89** ビデオ 3 入力端子

ヘッドホン (ミニ) 端子
 別売りのミニプラグのヘッドホンをつなぐ端子です。
 ヘッドホンの音量を設定することができます。
46

各部のなまえ (つづき)

AVC ステーション後面



将来発売予定の機器との接続

テレビ関連機器の中には、現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使い方など、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの 取り扱い



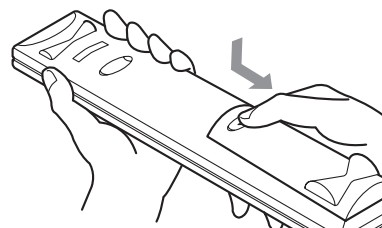
注意 乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

1

電池ぶたをはずす

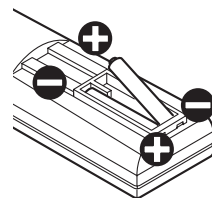
矢印の方向に押しながら引いて開けます。



2

乾電池を入れる

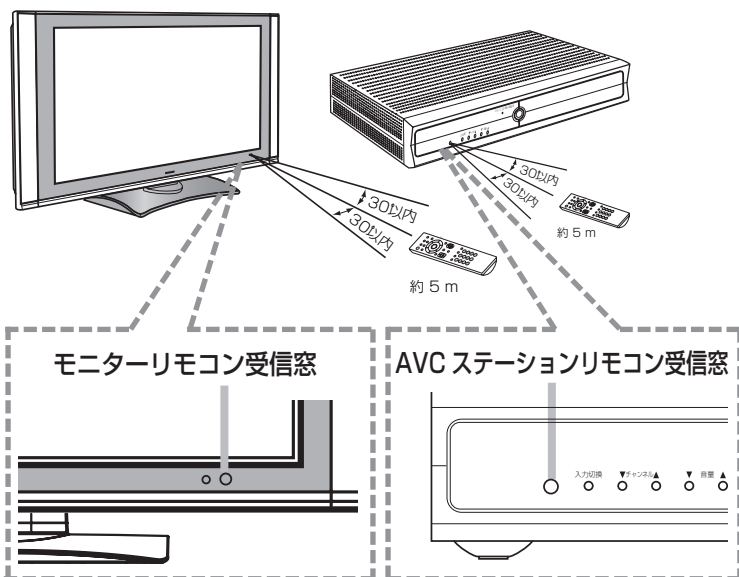
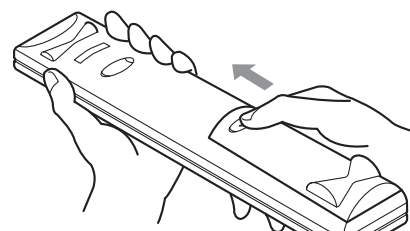
付属の単4形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。



3

電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押し戻します。



- リモコンは、モニターのリモコン受信窓またはAVCステーションのリモコン受信窓、どちらに向けても操作することができます。
- リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。
- かんたん操作機能 **52** を使用して外部機器を操作するときは、本機のモニターのリモコン受信窓に向けて操作します。
リモコン送信機はかんたん操作モードにより
 - ・かんたん操作機能 **52** 使用時：本機に付属のリモコン送信機で操作します。
 - ・リモコンスルー機能 **53** 使用時：外部機器専用のリモコン送信機で操作します。
- かんたん操作機能を使用しないで外部機器を操作するときは、外部機器専用のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作します。

お守りください リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間で使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。